

令和8年二級建築士設計製図試験 総評

昨日の二級建築士設計製図試験を受験されたみなさま、あらためまして、大変おつかれさまでした。一夜明け、少しずつ気持ちも落ち着いてきた頃でしょうか。

今年度の課題敷地は、例年に比べて敷地面積が126㎡と狭く、計画建築物も3階建てでありながら上限200㎡以下と比較的小規模なものでした。

加えて、要求室や屋外施設等の面積指定や種類は多数あり、**整然と配置しながら納めていくようなプランニング**が求められました。

「商店街に建つ併用住宅」というテーマ、「地方都市の駅に近い商店街」という主文条件から、

- ・限られた敷地条件における“木造3階建て”の意義
 - ・周辺環境との関係性と豊かな居住空間の獲得
 - ・住宅の一部を商空間として連続させていくような“併用住宅”等
- 実線的であり、題意にふさわしい建築物であったと考えます。

また、主要な設計条件として、

- ・フリースペース上部の吹抜けと子ども室とを隣接することによる将来計画（コワーキングスペースの拡張計画）
 - ・住宅部門における多数の要求室において、2階又は3階の設置階を適宜指定 等
- 計画判断や条件整理にやや戸惑うような出題**もあり、意図を汲み取りながら慎重にプランニングを進める必要もありました。

全体として、基本に忠実でありサプライズ的要求事項は少なく、具体的な条件指定が多かったため、総じて、**誘導的で限定的なプランになり得る**と考えます。

今年の本試験で出題された、

敷地形状、接道条件、アプローチ、ゾーニング、ボリューム算定、配置計画、併用用途、両部門の屋内での行き来、吹抜けを介した1～2階に跨る併用用途の計画、竪穴区画、200㎡緩和、バルコニー、延焼ライン、部分詳細図、北側立面図、等

ほぼ全ての条件に対応済、**同等・類似条件を数多くの中**させました。

TAC 厳選7課題により、十分に対応できる試験内容であったと考えます。

TAC建築士講座

令和8年9月14日

※ポイント解説は、答案プラン例の方に掲載しています。そちらもご参考ください。

この総評の著作権は、TAC株式会社または権利者に帰属しており、当社に無断で複製、改変、転載、転用、インターネット上にアップロードする等の著作権を侵害する行為は法律によって禁止されております。